

[大阪科学技術センター主催]

ネクストリーダー育成ワークショップ 「IoT・AI時代のものづくり・ことづくり」

幅広い視点から考え・整理できる力を身に付け、技術と時代の変化に対応し、
新しい価値づくりに挑戦するリーダーを養成します

1.1 実施時期・回数

2021年5月～9月（6回シリーズ）／Zoomによるオンライン開催

	テーマ
第0回 (5/26)	オリエンテーション：ワークショップの進め方、Zoomの操作方法、自己紹介、グループディスカッションなど
第1回 (5/28)	「スケールフリーネットワークで起こすDX2.0とQX（Quantum Transformation）」
第2回 (6/25)	「年間100件のAI導入から解くAIの使いこなし方」
第3回 (7/29)	「大規模観測から見るサイバー攻撃の動向：狙われ続けるIoT機器」
第4回 (8/26)	「GEヘルスケアのデジタルへの挑戦」 ～デジタルと人の織りなす改善と工場のスマート化～
第5回 (9/30)	（最終報告会） 第4回の最後に発表したテーマに基づき、グループ毎に発表

各回の終了後に1.5時間程度のオンライン交流会を実施

1.2 実施内容

- ・オリエンテーション（ワークショップの進め方、Zoomの練習[基本、グループワーク]
- ・講義（各分野の有識者より最新理論の解説、事例、課題、今後の方向性等をレクチャー）
- ・グループディスカッション、発表（講義で得た基礎知識と活用事例をふまえ、設定したテーマ毎にグループディスカッションを行い、意見をまとめて発表）
- ・参加者間の情報交換、ネットワーキング（オンライン交流会）

1.3 参加対象者と募集人数

- ・対象者：主に若手、リーダー、中堅社員（自社で参加にふさわしいと思われる方）
- ・募集人数：30名（定員に達し次第〆切）

1.4 参加費

- ・賛助会員：165,000円／名（消費税込み）
- ・非賛助会員：220,000円／名（消費税込み）

*参加お申し込み後、請求書を送付いたします。

1.5 講義テーマと講師

次頁以降を参照

*講師との調整により内容が若干変更となる場合があります。

講義テーマ

「スケールフリーネットワークで起こす DX2.0 と QX(Quantum Transformation)」

(株) 東芝 執行役上席常務 最高デジタル責任者

島田 太郎



(講義概要)

過去 10 年間、インターネット関連の企業が大きな株式・企業価値を上げてきたが、背後には、スケールフリーネットワークという構造が存在する。このインターネットによる革命を DX1.0 とすると、今後今まで繋がっていなかった物がネットワーク化する事によって DX2.0 が起こり、やがては量子インターネットの世界が開ける事になる。これらの重要な技術とコンセプトを、具体的な例を挙げながら説明する。

～講師略歴～

1990 年 新明和工業(株)会社入社。1991 年にボーイング社、1994 年にマクドネル・ダグラス社出向。2010 年 シーメンス インダストリーソフトウェア(株)日本法人の代表取締役社長兼米国本社副社長、2015 年 シーメンス(株) 専務執行役員、デジタルファクトリー事業本部長 プロセス&ドライブ事業本部長を歴任。その後、2018 年 (株)東芝 コーポレートデジタル事業責任者(Chief Strategy Officer)を経て 2020 年より現職。現在、東芝デジタルソリューションズ(株)取締役社長、東芝データ(株)代表取締役 CEO、(一社)JifLink オープンコミュニティ代表理事を兼任。

第 1 回

講義テーマ

「年間 100 件の AI 導入から解く AI の使いこなし方」

(株)エクサウィザーズ AI プラットフォーム事業部

西日本総括 長谷川 大貴



(講義概要)

AI 等の先端技術導入に関心はあるものの、「どのような場面で AI を活用すればよいのかわからない」「費用対効果の見立ての仕方がわからない」「提案しているが、経営/上長から OK をもらえない」等の課題について、エクサウィザーズが取り組む年間 100 件超の導入実績をもとに、AI の使いこなし方を徹底解説する。

- ✓PoC で“AI を試す”から、ビジネスで“AI を活用する”ための勘所
- ✓実際の AI 活用事例のご紹介
- ✓今更聞けない AI に関する疑問点等の徹底解説

第 2 回

～講師略歴～

京都大学工学研究科修了。2011 年、東京電力にエンジニアとして入社し、震災直後の混乱の中緊急工事に従事。その後、経営コンサルティングファームのデロイト・トーマツコンサルティングに入社、西日本企業の経営改革に注力。SCM 改革、M&A 支援、IT 中期立案、IT を梃子にした営業改革等、様々なプロジェクトに従事。

2018 年、株式会社エクサウィザーズへ参画し、製造業、インフラ企業、大学等西日本エリアにおけるデータ&AI 活用 PJ を多数リード。AI 活用テーマ創出のコンサルティングや西日本におけるスマートシティ構想支援等を幅広く実施し、西日本全体の DX を推進している。

講義テーマ

「大規模観測から見るサイバー攻撃の動向：狙われ続ける IoT 機器」 (国研)情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 サイバーセキュリティ研究室 主任研究員 伊沢 亮一

(講義概要)

Web カメラやホームルータなどの IoT(Internet of Things)機器を狙ったサイバー攻撃が後を断たない。しかもこれら攻撃は 2018 年頃からより一層巧妙化してきており、脆弱性のある IoT 機器が単発の攻撃データを受信するだけで攻撃者にのっつけられてしまう危険があることが分かっている。我々が実施している大規模観測のリアルタイム可視化や統計情報などをお見せするとともに、IoT 機器を狙うサイバー攻撃の動向や IoT 機器を使う個人が注意すべき点について概説する。



第 3 回

- ✓サイバー攻撃の動向
- ✓狙われる IoT 機器の脆弱性
- ✓過去の感染事例から学ぶセキュリティ対策

～講師略歴～

2004 年徳島大学工学部知能情報工学科卒業、2006 年徳島大学大学院博士前期課程修了。セキュリティ系ベンチャー企業に入社と同時に神戸大学大学院博士後期課程進学。2012 年神戸大学大学院博士後期課程修了。博士(工学)。同年、NICT 入所。2020 年現職、現在に至る。主にマルウェア解析や IoT 機器のセキュリティ検証などのサイバーセキュリティに関する研究に従事。

「GE ヘルスケアのデジタルへの挑戦 ～デジタルと人の織りなす改善と工場のスマート化～」 GE ヘルスケア・ジャパン(株) 執行役員 製造本部本部長 工場長 藤本 康三郎

(講義概要)

デジタルを活用して生産の最適化を図る「ブリリアント・ファクトリー」の推進を掲げる米 GE。世界で 450 ある工場の中で先端を走る 7 つのショーケースサイトの 1 つが、GE ヘルスケア・ジャパンの日野工場。日野工場の Brilliant Factory の取組みから目指す未来を実例を交えて解説する。



第 4 回

- ✓GE ヘルスケア、日野工場の IoT ツールを用いたカイゼン活動の歴史
- ✓GE ヘルスケアで実践している IoT ツールを用いたカイゼン活動の概要
- ✓どのように推進しているのかの説明

～講師略歴～

2000 年に名古屋大学大学院理学研究科修士課程を卒業し、GE 横河メディカルシステム(現 GE ヘルスケア・ジャパン)に入社。2011 年に同社イメージング・サブシステム本部 本部長、2015 年に米 GE Healthcare 社イメージング・サブシステム事業部 プログラムマネージャに就任。2017 年から現職。

第 5 回

・最終発表

与えられたテーマに基づいてディスカッションし、グループ毎に発表。各グループ及び企業経営者等を交えた審査、講評を行い、優秀賞、審査員賞等を授与。また、最後には、本ワークショップに参加した感想を各自が発表。

ファシリテータについて：

池田 光穂（大阪大学 CO デザインセンター長・教授）

最終学歴：大阪大学 大学院医学研究科 博士課程単位取得済退学

職歴：1992.4 東日本学園大学(北海道医療大学)教養部助教授

2002.10 熊本大学 文学部教授(文化表象学)

2005.4 大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)教授

2015.8 大阪大学 CSCD 教授・センター長(～2016.6)

2016.7 大阪大学 CO デザインセンター 副センター長・教授(～2020.3)

2020.4 大阪大学 CO デザインセンター長・教授(現在)

専門：中央アメリカの民族誌学と医療人類学。CSCD では、専門的知識をもつ者と
もたない者の間、利害や立場の異なる人々をつなぐコミュニケーションの回路の
構想・設計・実践を目指して、「現場力」をテーマに、「対話重視」で各種取組みを展開。



1.6 各回の基本的なスケジュール

第0回 オリエン テーション	実施項目	講師
13:00～ 16:00	ワークショップの進め方、Zoom 基本 操作、グループワーク等	ファシリテータ

第1～4回	実施項目	講師
13:00	講義（前半）	講師・（ファシリテータ）
13:40	ディスカッション1・発表・講評	ファシリテータ
14:50	講義（後半）	講師・（ファシリテータ）
15:30	ディスカッション2・発表・講評	ファシリテータ
17:30	振り返り・終了	

第5回	実施項目	講師
13:00	最終発表に向けての グループディスカッション	ファシリテータ
15:30	最終発表（プレゼン）、審査 他	ファシリテータ、審査員
17:00	表彰式、修了式	最優秀賞、審査員特別賞授賞、修了証授与
17:30	終了	

各回の終了後 1.5 時間程度のオンライン交流会を実施

2. 受講方法

- Zoomを使用します。初めてZoomを利用される場合は事前にZoomのソフトをインストールして使用できるように準備をしてください。インストールは無料です。
- 接続テストは、Zoomの公式サイトで事前に実施してください。(<http://zoom.us/test>)
- Zoomを使用できるPCをご用意下さい。(低速の通信回線、低スペックのPCは避けて下さい)
- お申し込み頂いた方には、受講用のURLを後日メールでご案内します。
- 1つのお申し込みに対して、1名のみが受講いただけます。

3. お申し込み方法

- 別紙の参加申込書に記入の上、事務局あてに、EメールもしくはFAXでお送り下さい。
- 30名の定員となりますので、お早めにお申し込み下さい。
- グループワークの性格上、できるだけ同一の方が5回を通じてご参加ください。

4. 募集期間と受講のご連絡

- 応募締切り：2021年5月20日(木) *定員に達し次第、締め切ります。
- 受講の連絡：お申し込みを受け取り後、事務局からご連絡いたします。

5. 参加申込み先およびお問い合わせ先

一般財団法人 大阪科学技術センター イノベーション推進室 (担当：篠崎)

E-mail: innovation@ostec.or.jp FAX 番号：06-6131-4754

受講者の声

- ✓ ディスカッションを通じて新しいアイデアが生まれる体験をし、自分で考えるだけでなく、メンバーの意見を引き出す意識が生まれた。
- ✓ 異業種メンバーとのディスカッションで、会社で設計担当の自分が顧客目線でニーズを捉えられていないことに気付いた。
- ✓ ビックデータ解析を進める事で不良解析が可能となり、将来的に検討しているスマート生産のイメージを持つ事が出来た。
- ✓ バックグラウンドの異なる他業種からの優秀な参加者から意見を聞くことによる異なる発想での知識の吸収、視野の拡大ができた。
- ✓ 「様々な意見を持った人と議論をする」ということに少し慣れたので、ユーザとの打合せでも、ユーザの意見を最初から否定せずに、聴くことができるようになった。
- ✓ 新規取組みの初期段階で、自らが先頭に立って、メンバーを集めディスカッションを行う場面で、ディスカッションの進め方など、今回の経験が生きた。
- ✓ 新しいことをやってみようという音頭を取ることに抵抗がなくなった。
- ✓ 堅苦しくなくリラックスした雰囲気で大変良かった。次回も弊社から参加を勧めたい。

〈これまでの参加企業〉

(敬称略・五十音順・参加当時の社名)

エネゲート/大阪ガス/大阪ガスケミカル/大阪冶金興業/沖電気工業/金井重要工業/カネカ/川崎重工業/関西電力/KANSO テクノス/関電システムソリューションズ/近鉄グループホールディングス/きんでん/栗本鐵工所/KDC/神戸製鋼所/最上インクス/三信建築設計事務所/GS ユアサ/JRC/ジェイテクト/島津ビジネスシステムズ/神鋼環境ソリューション/新コスモス電機/親和運輸/住友電気工業/積水インテグレートリサーチ/積水化学工業/善友金属/ゼンユー/ソフトウェアエンジニアリング/大日本除虫菊/ダイヘン/太陽刷子/タカラベルモント/タクマ/竹中工務店/椿本チエイン/TOA/東西化学産業/東洋紡/中尾フィルター工業/ナルックス/日本カタン/日本ピラー工業/日本触媒/日本ネットワークサポート/日本バルカー工業/パナソニック/日立製作所/日立造船/富士インパルス/フジキン/古野電気/ホンダエンジニアリング/三ツワフロンテック/村田機械/メタウォーター/モリタ製作所

個人情報の取扱いについて

- 本ワークショップへのお申し込みにあたり、個人情報保護のため、(一財)大阪科学技術センターが、適切に取り扱います。
- ご記入頂いた個人情報は、本ワークショップの運営・管理等に関するご連絡及び当財団の関連事業等のご案内以外には使用致しません。個人情報の取扱いは、当財団の「個人情報保護規程」に従って対応いたします。

ネクストリーダー育成ワークショップ
テーマ：「IoT・AI時代のものづくり・ことづくり」
参加申込書

E-Mail:innovation@ostec.or.jp または FAX:06-6131-4754

(大阪科学技術センター イノベーション推進室 篠崎宛)

申込締切日：2021年5月20日(木)まで

【お申し込みにあたっての留意事項】

- ・原則、全日程へのご参加がお申し込みの条件となります。
- ・お申し込み後、事務局より簡単な事前アンケートを実施させていただきます。

機関名：		
所在地：〒		
TEL：（ ） — FAX：（ ） —		
氏名	所属・役職	メールアドレス

※ご連絡頂いた個人情報は、本ワークショップの運営・管理等に関するご連絡及び当財団の関連する事業等のご案内以外には使用致しません。